

備前市施策評価シート

(平成18年度事業)

施策名 (小項目)	文化財の保存と活用	コード	作成者	役職	生涯学習課課長
		03-03-02	氏名	谷口富祥	
			電話	64-1841	

備前市総合計画の内容から記載する

施策の体系	大項目(基本目標)	地域文化とひとが輝くまちづくり
	中項目(基本施策)	歴史と文化の輝くまちづくり
施策の対象と目的 (誰のために、何のために)	市内外を問わず、備前の歴史や文化財(特に閑谷学校や備前焼)に興味のある人に対し、公開活用をはかり、もって市民の文化向上に役立つことを目的とする。	
現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	備前市にある数多くの文化財を、開発・腐朽・災害などからまもり、適切に保護・保存していくことが重要な課題である。また、備前歴史フォーラムなどを開催するなど文化財の公開・活用を通して文化財に親しむ機会を設け、理解を深めてもらう必要がある。旧閑谷学校の世界遺産登録に向けては、岡山県をはじめ関係市町村と協議しながら検討していく必要がある。	
施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 文化財の保護 旧閑谷学校世界遺産登録の推進 	

施策構成事務事業の評価

施策を構成する事務事業名	事務事業 評価結果 A~E (高~低)	細事業一覧表	事業 分類	事業費(単位:千円)						優先順位 その他
				H17		H18		H19		
				直接 事業費	人件費	直接 事業費	人件費	直接 事業費	人件費	
1 文化財保護事業	B	文化財保護管理運営事業	維持管理	1,671		1,426				
		文化財保護審議会活動事業	法定事務	305	12,135		10,029			
		備前焼総合調査史跡整備事業	ソフト事業	12,118		13,631				
2 旧閑谷学校世界遺産登録推進事業	C	閑谷学校世界遺産登録推進委員会事務事業	ソフト事業	10	1,715	10	1,705			

この施策に要した費用(人件費込、単位:千円)	H17	H18	H19
	27,954	26,801	

以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	その説明
商工観光課	備前焼振興事業など観光関連事業	観光ポイントは文化関係(備前焼・特別史跡「閑谷学校」など)が多いので、連携を図る必要がある。

施策の評価

項目	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い			
	一次評価		二次評価	
	評価	判断理由	評価	判断理由
1 目的達成度	4	備前歴史フォーラムの開催や現地説明会など公開活用にも視点を置いた事業展開ができています。	3	歴史フォーラムの開催は一定の成果を上げているが、文化財に対する一般市民の認識や関心が深まっているとは言えない。
2 事業構成の適当性	2	旧閑谷学校世界遺産登録推進関連事業の妥当性など問題点がある。	2	旧閑谷学校世界遺産登録推進関連事業については、県との協議・指導を受けながら見直しを図る必要がある。
3 施策の有効性	4	日常の文化財の保護管理、公開利用のフォーラム、発掘調査など目的に沿った事業を実施。	3	文化財に対する認識を深め、施策の有効性を図るため、小中学校との連携を深めるなど、より多くの市民と関わりが持てる事業展開が必要である。
今後の展開・協働の可能性・事業の見直し等の担当への指示		文化財の公開活用、特に伊部南大窯跡整備事業については、その地域に住む市民の協力が不可欠なので、今後は協働事業に取り組む必要がある。 また、閑谷学校の世界遺産登録については、現状のままでは大変厳しいことから、岡山県などとも協議をし、見直しを行う必要がある。	同左	
二次評価者コメント	役職 教育次長 氏名 山本 健次	文化財の保護・活用に必要な事業であり、今後は事業の取捨選択を行い施策を推進していく。		平成20年度 予算の方向性 前年度並みの配分

市民意識調査による施策の重要度・満足度

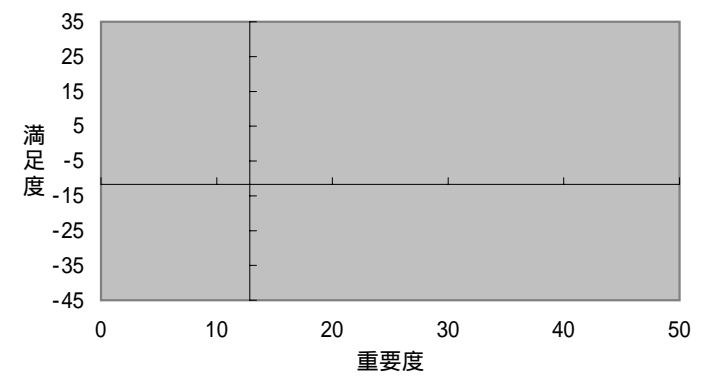
調査年度	H19	H20	H21
重要度(%)			
満足度(%)			

<見直し領域>
その施策や事業が必要か否かの検討が必要

<維持領域>
現状の方向を継続

<検討領域>
その施策や事業の存続の検討が必要

<強化領域>
内容等を見直し、市民満足度を高める事業を行う



調査結果に対するコメント、市民の反応等	調査対象でない。 備前歴史フォーラムに参加した方からは、今後も続けて開催して欲しいとの要望があった。
---------------------	---

施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	評価年度		目標値		ベンチ マーク	指標の説明
		H17	H18	H23	H28		
1 備前歴史フォーラム延参加者数	目標	人	200	200			
	実績	人	173	184			
	達成率	%	86.5	92.0			
2 旧閑谷学校世界遺産登録推進委員会総会・記念講演参加者数	目標	人	50	50	60	60	
	実績	人	47	51			
	達成率	%	94.0	102.0			
3	目標						
	実績						
	達成率	%					
4	目標						
	実績						
	達成率	%					